

医療の現場から



## 細胞検査士とは?

函館中央病院 病理検査室  
臨床検査技師・細胞検査士

岡崎 光展 さん

よくTVドラマで「この検体を病理検査へ!」などと言って、すぐにそれが「悪性(がん)」、または「良性」と診断しているシーンがあると思います。検体採取から診断まで簡単に描いていますが、この病理検査は患者様の命を左右する、とても重要な検査です。表に出てくる事はなかなかありませんが、この検査に関わっているのが病理医や臨床検査技師です。

病理検査とは大きく「組織検査(組織診)」と「細胞検査(細胞診)」の2つに分けられます。組織診は体の一部を採取(痛みを伴う)し、病理医が行うのに対し、細胞診は採取部位にもよりますが、患者様の身体的負担が少なく(痛みを伴わないこと

がほとんど)、比較的簡単に検体採取ができるほか、細胞検査士が行うことができます。今回は細胞診と細胞検査士についてご紹介したいと思います。

細胞診とは喀痰<sup>かくたん</sup>や尿、乳腺、婦人科検診材料などから、特殊な処理をした細胞を顕微鏡で観察して、がん細胞が含まれていないかを調べる検査です。前述の通り、身体的負担が少なく、容易に検体を採取出来ることが特徴です。ただ「簡単に検体を得られる分、正確な結果が出ないのでは?」と不安に思われるかも知れません。確かに、検体を組織(細胞の集合体)として検査する組織診の得られる情報は、細胞診と比べて多いです。しかし細胞診でも細胞に特徴的な所見があれば組織診と同様の精度を誇る場合があります。

ちなみに細胞検査士になるには、臨床検査技師の国家資格を取得後、更に難しい細胞検査士資格認定試験(合格率約20%)を突破しなければなりません。細胞検査士は病理検査を行う、ほとんどの病院施設であれば勤務しています。もし病理検査を受けなければならぬ時には、「こういう人達が陰で医療を支えている」と少しでも安心して頂ければ幸いです。



### 函館中央病院

函館市本町33-2 ☎0138-52-1231(代) <http://www.chubyou.com/>

■診療科目/内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、心臓血管外科  
皮膚科、産婦人科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科など全22科目

■受付時間/8:30~11:30・13:30~16:00※土曜は午前のみ。診療科や時間帯によっては要予約。

■休診日/日曜・祝日・年末年始・開院記念日(6月第1水曜)